

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら流山教室		
○保護者評価実施期間	12月1日2025年		～ 1月15日2026年
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50名	(回答者数) 48名
○従業者評価実施期間	2026年 12月 15日		～ 2025年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 様々な活動プログラムをおこなっている。 ペアトレや定期面談を実施して子育て支援を図っている。 保護者からの相談に対して迅速に丁寧に対応するように心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月異なる活動プログラム案を出している。題名が同じでも、前回の様子を踏まえて内容を変えている。 手紙やLINEで知らせ、個別に声をかけている。 リズムや送迎時に何か相談があった場合、すぐに共有するようにしている。管理者や主任が電話をしたり、面談を組んだりと対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在もやっている活動ノートの申し送りの点を活かして活動をおこなう。 どちらも年2回のため、内容を保護者の方のニーズに合わせて情報収集している。 相談のある家庭が固定化されている印象。様々な対応ができることを周知し、他の家庭にも相談の連絡を取りやすい環境を作るといいと思う。
2	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方と情報共有がしやすくなるように心がけている 保護者に対して情報共有や共感的な支援ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> リズムや送迎時、LINEで相談があった際には、当日中に職員で共有し、対応を速めに行っている。 こぼんでの様子を送迎やリズム電話で伝え、育ちを喜び合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も同じような対応を続ける。 対話を大切にしながら、関係性を築いていく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの様子を伝える際にSNSを利用して情報発信に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ブログからもっと親しみのあるInstagramに移行した。 日々のかかわりの中で相談しやすい話せる場であることを伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> Instagramがあることを保護者の方にも知らせていく。 対話を大切にしながら、関係性を築いていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 利用日数を減らしてもらわなければならなかったこと。 地域交流 	<ul style="list-style-type: none"> 産休育休の職員が複数人出て人材確保が整わなかった。 利用時間や希望されている家族がいないなど複数の課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 安定して働ける環境づくり。 まずは、課題の1つ1つにおいて取り組みや工夫を考えていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 活動見学ができることを保護者の方は知らなかった事。 災害対策や避難訓練の質の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> お知らせの周知が契約時のみになっていた。 子どもに対しての訓練や対策はもちろん、あらゆるケースを想定して職員間の訓練が不足していると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 希望される方がいれば対応していく事を改めて周知する。 備品や避難経路、マニュアルの作成や回覧だけでなく、実際に想定した訓練を社内研修等を利用して実施する。
3	<ul style="list-style-type: none"> 専門性のある支援 	<ul style="list-style-type: none"> 言語に関する課題を考えているご家庭が複数あるが、言語聴覚士の資格を持つ指導員の確保には至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修への参加、専門職の知見を基にした研修を実施して、支援内容に反映して支援していく。